

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 大和しらかし会 ぴこっと (児童発達支援事業)		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		~ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		~ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就学前の療育として、ご家族と一緒に参加していただく個別支援を実施しています。	毎回必ず、ご家族の方に参加していただき、お子さんの行動観察、相談援助を実施しています。	よりそれぞれのご家族の状況やニーズに応じた柔軟な家族支援プログラムの提供をしていきたいと思ひます。
2	ご家族の状況に応じて、ペアレントトレーニングの提供を実施しています。	個別のご家庭のニーズに合わせたペアレントトレーニングの提供を行ってきています。	より一人一人のお子さんやご家族の状況に合わせた柔軟なペアレントトレーニングなどの家族支援プログラムの充実を図っていきます。
3	地域の児童発達支援事業所との連携を図り、地域全体の療育、発達支援の質の向上を図っています。	大和市児童発達支援事業所連絡会を2ヶ月に1回の頻度で開催し、情報交換などを通して、各事業所での取り組みの質の向上につながるような取り組みをしています。	より充実した連携を図り、当事業所だけでなく、地域全体の児童発達支援の充実を図っていただけるように努めていきたいと思ひます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の体調不良や研修などにより、1人でも担当者が不在になるとサービス提供ができなくなることがあります。	BCPを活用していただけるような事業所間の連携をより充実させていくこと。 職員が休んだ場合でも、十分に支援ができるような人材の育成や対応できるような業務の改善。	BCPの作成だけでなく、十分に活用していただけるような事業所間の連携と、ひとりひとりの職員のスキルアップなど人材育成を充実させていきたいと思ひます。
2	各種マニュアルなどの整備とご家族への周知がアンケート結果から不十分であることがわかりました。	数多くあるマニュアルについて、十分に丁寧に説明することや、継続していつでも確認できる状態になっていないこと。	いつでも確認していただくことができるようにマニュアルを整備して、周知することについて工夫をしていきたいと思ひます。
3	お子さんが通う保育所等や相談支援事業所などの関係機関との連携をより充実させていくこと。	限られた業務時間、人員配置の中で十分に対応できる時間や人材の余裕がないこと。	直接対面での連携に限らず、相談支援ファイル「かけはし」の活用や、その他柔軟な形での連携を取って、地域全体でそのお子さんの支援を充実させていただけるように努めていきたいと思ひます。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		びこっと（児童発達支援事業）				公表日	R7年 1月 15日		利用児童数	7名	回収数	7名
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	0	・運動の時にもう少し広い方が良いと思う。 ・こども1人なら十分な広さだと思う。	ご意見ありがとうございます。運動の活動を提供するときには、もっと広いとさらさらいろいろな活動ができるかもしれません。お子さんのニーズに合わせて、季節が良いときは近隣の公園なども活用していきたいと思います。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0	・とてもスムーズにプログラムが実行されていると思う。	ありがとうございます。今後もよりスムーズにプログラムを提供できるように努めます。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0	・心地よく過ごせる環境になっていると思う。	ありがとうございます。今後もより快適に清潔な環境作りを努めていきます。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0	・数回しかまだ利用してないが、こどものことを十分に理解し関わってくれていると思う。	今後もより専門性のある支援を提供できるように努めていきます。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0	・こども保護者の話をよく聞いてくれ、ニーズに合った計画を立ててくれていると思う。	今後もニーズに応じた支援計画を作成していきます。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0	・こども保護者の話をよく聞いてくれ、ニーズに合った計画を立ててくれていると思う。また、具体的な支援内容だと思う。	今後も、ガイドラインに沿ったより具体的に丁寧な支援を心掛けていきます。				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0	・子どもも楽しんで行っている。	今後もひとりひとりのお子さんの特性や発達に応じたプログラムを提供していきます。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	2	3						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0	・とても分かりやすく丁寧に説明を受けた。	今後もより丁寧に説明できるように努めていきます。				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0	・とても分かりやすく丁寧に説明を受けた。	今後もより丁寧に説明できるように努めていきます。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	1						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0	・とても丁寧に耳を傾けてくれ、分かりやすく説明してくれている。	今後も、より丁寧に相談に応じ、適切な助言や支援についてともに考えていきます。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0	・とても丁寧に助言してくれており、相談する度に安心したり、助言を実行しようと思える。	引き続き、毎回子育てに関する助言などの相談援助を充実していきます。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0	・とても共感的に対応してくれている。	ありがとうございます。今後もそれぞれのご家庭の状況に応じた共感的な支援を心がけていきます。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	0	4	・父の会を楽しみにしています。題材が気になるものばかりで参加できなかった時も資料がもらえるのでありがたいです。母は仕事があり、日中だとあまり参加できず少し淋しいです。	お父さんの会は、2か月に1回の頻度で開催しています。今後もニーズに応じて実施していきたいと思います。				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	1	・まだ利用回数が少ないため分からない。 ・常に相談できる環境です。	いつでも相談しやすいような環境を整えていきたいと思っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0	・とても優しく丁寧に対応してくれている。	ありがとうございます。今後もより丁寧に対応していきたいと思っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	2		法人のホームページや公式LINEを活用しています。今後もより充実した情報発信をしていきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	0	3	・丁寧に説明を受けた。	マニュアルを整備し、いつでも確認しただけのように工夫を検討していきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	6		定期的に避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	1		今後も、安全に十分に配慮していきたいと思っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	3		必ずご家族と一緒に参加していただいているので、迅速に対応できていると思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0	・課題に無理なく取り組めるので楽しいところと思っているようです。 ・とても安心感をもって通所でできおり、通所することを心待ちにしている。	ありがとうございます。今後も、安心、安全、安定して過ごせる場を提供し続けるように努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0	・とても楽しみにしており、終了後も次はいつかと聞いてくるほど楽しい様子がある。 ・びこっことに行けることがモチベーションになっている。	ありがとうございます。今後も、楽しく参加できるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0	・その日の体調、様子に合わせてもらえて、成長したなと感じることが増えました。 ・まだ数回の利用だが非常に満足している。	ありがとうございます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	びこっと（児童発達支援事業）					公表日	R7年	1月	15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・個別支援を行っているため、十分な広さを取ってサービス提供をしています。 ・場所と活動を1対1対応できるような工夫をしています。 ・必要に応じて、パーティションや布などをかぶせて環境整備をしています。	個別支援を行っているため、スペースとしては十分かと思えます。よりそれぞれのお子さんの状況に合わせて使いやすい場の環境設定を心がけていきたいと思えます。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・個別対応を実施しているため配置は適切です。	職員が体調不良などになった場合にお休みにせざるを得ないこともあるため、BCPを整え、他事業所と連携をとって十分な支援ができるような体制作りをしていきたいと思えます。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・出入口が玄関1つしかないため、非常時の避難が心配です。 ・子どもの特性に応じて配置など環境設定を考えています。	今後もひとりひとりの特性に応じた情報伝達や環境設定をしていきたいと思えます。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・掃除をして清潔な環境を心がけています。 ・清潔で心地よく過ごせるように、整理整頓や清掃を行っています。机、イス、ロッカー、下駄箱の消毒をしています。	引き続き、清潔で、心地よい環境を作っていくように努めています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・その日の子どもの状況により環境設定やプログラムを柔軟に変えています。	必要に応じて、より適切に対応できるように工夫をしていきたいと思えます。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・月1回の職員会議で定期的に振り返りを行っています。	毎年、事業所の目標、行動指針を話し合っており、毎月会議ごとに行動指針を確認して業務改善に努めています。より一人一人の職員が自発的に業務改善に参画できるように心理的安全性の高い職場作りを努めています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・年に1回必ず評価アンケートを実施しています。 ・事業所評価を本部のホームページで公開しています。	今後も、ニーズに応じて業務改善に努めていきたいと思えます。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・職員会議や1on1ミーティングなどで意見を把握して共有しています。 ・職員会議で業務改善について話し合います。改善点があれば、みんなで話し合っ解決しています。	月に1回、管理者と職員ひとりひとりと1on1ミーティングをし、業務の改善についての振り返りをするようにしています。また、職員会議で全体で業務改善が必要なことについて意見を出し合う機会を設定しています。よりひとりひとりの職員が意見を出して、参画できるように心理的安全性の高い職場作りを目指していきます。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・理事会や第三者委員会、評議会など外部評価が行われる場があり、業務改善につなげています。	今後も外部評価の結果に基づいて業務改善を図ってきたいと思えます。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・スペシャルラーニングなどを活用して内部研修を実施しています。なかなか動画研修を個人で見ると時間がとれないことが課題です。 ・事業所内で毎月内部研修を行っています。年に1回法人全体で研修を行っています。	法人の人財育成のシステムの構築をしてきています。人財育成実施要綱に基づいた研修計画の作成に携わりながら、事業所だけでなく法人全体の職員の資質向上を図っていきます。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・個々に合わせた支援プログラムを作成しています。	今後、5領域に基づいた支援プログラムの公表をしていきます。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・相談支援事業所と連携し、サービス等利用計画に基づいて支援計画を作成しています。日々の記録や事業所の個別支援計画により、振り返りをし、職員で共有しています。 ・事前に保護者アンケートで伺っていた要望も考慮しつつ子どものアセスメントに基づいて計画を作成しています。	日々成長するお子さんたちのニーズや課題に応じて、支援を計画しています。より適切に、支援計画を見直して柔軟な支援ができるように今後も努めていきたいと思えます。				

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・記録を丁寧にすることで共有しています。 ・支援に関わる職員が記録を基に原案を作成しています。職員同士で話し合い確認しながら作り上げています。	今後も、よりお子さんの最善の利益を考慮した計画作成をしていけるように工夫していきたいと思います。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・個別支援計画の共有をしている。 ・毎日の打ち合わせで確認し、職員間で共有した上で計画に基づく支援を考えています。	限られたサービス提供時間のなかで、ひとりひとりの計画に応じた支援ができるようにプログラムの提供の仕方を工夫しています。今後も引き続き努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・必要に応じて評価ツールを用いたアセスメントを実施しています。個々の行動観察では、共通したフォームを使用し、アセスメントを共有しています。 ・必要に応じて心理士による発達検査などフォーマルな評価を実施しています。	日々インフォーマルなアセスメントをして支援しています。より質の高いアセスメントをすることができるように、職員の資質の向上を目指していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・記録を参考に、ひとりひとりに合う支援計画を作成しています。	ガイドラインの改定版に沿って少しずつ書式を工夫したり、ガイドラインに基づいた支援や計画の作成ができるように整備していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・職員間で共有しています。	さまざまなアイデアを出し合って、プログラムの立案をしています。今後もよりこどもたちのニーズに沿ったプログラムを工夫していきたいと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・ひとりひとりのお子さんの発達や特性に合ったプログラムを提供しています。	常にインフォーマルなアセスメントの視点で大切に、「できそうなこと」を見つけてプログラムを柔軟に設定しています。今後も、ひとりひとりに合わせた適切なプログラムの提供に努めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・お子さんの特性や状況に配慮して、柔軟に対応するように心がけています。	お子さんの特性に配慮し、より柔軟に対応できるように今後も努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・時間を決めて打ち合わせ、確認をして支援にあたっています。	プログラムが始まる前には、その日の具体的な支援の流れを確認して対応しています。より臨機応変に連携をとって支援することができるように努めていきたいと思っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・いつもと違うこと、気づいたことがあったときには、お互いに伝え合うようにしています。	必要なことは記録に残し、次回利用時に必ず確認をするようにしています。業務改善も含め、今後より振り返りを丁寧にできるように改善に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・記録は、各自で回覧して確認をしています。また、次回の打ち合わせで共有しています。	デジタル入力できるソフトを導入し、記録の管理を行っています。支援の検証や改善はその都度実施しています。チームとしての資質を向上していきたいと思っています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・記録により評価をして支援計画を立てている。	最低でも6か月1回はモニタリングを実施しています。必要に応じて適宜、見直しをするようにしています。今後も、より適切な見直しができるように心がけていきたいと思っています。	
関係機関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・管理者や担当職員が参加しています。	今後も工夫をして時間を作って参画するようにしていきたいと思っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・必要に応じて連絡を取り、対応しています。	ご家族のニーズに応じて、積極的に関係機関と連携を取って支援を行うようにしてきています。今後も工夫をして、連携した支援ができるように努めていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・必要に応じて連絡を取り、対応しています。 ・保育所等から先生が来所して見学をしてくださったり、情報交換をしています。	今後も、地域の保育所などの関係機関との連携を図っていききたいと思っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・資料を作成して保護者や教育委員会に提出しています。	必要に応じて、情報共有をしています。また、保護者を通して相互理解ができるように努めています。今後も、必要な情報共有がよりスムーズにできるように努めていきたいと思っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

や保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			・必要に応じ連携をとっています。	現状では、センターで実施している保育所等訪問支援事業と連携をして助言をいただいています。今後も、より連携を図っていきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・1時間の個別支援に特化したプログラムであるため、ほかのこどもと活動する機会はありません。	実際の支援現場では他のこどもと活動する機会はありませんが、保育所等や地域の中で本人が楽しく過ごすことができるようになるための支援を、ひとりひとりに合わせて検討して提供してきています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・必ずご家族と一緒に参加していただき、行動観察と相談援助を実施しています。	長年、保護者支援に重点を置いて支援してきています。今後も、より適切に相談できる地域の居場所としての在り方を今後も検討していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・個別でのペアレント・トレーニングを実施しています。 ・父親の会や保護者対象の懇談会、勉強会・見学会を実施し情報共有しています。	ご家族や本人の特性、状況に応じて個々の家族支援プログラムを提供しています。今後も、より個々のご家庭の状況に応じた柔軟な支援プログラムを提供していきたいと思っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	丁寧な説明を心がけています。	今後もより丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・子どもや保護者のニーズを尊重するように心がけています。 ・面談を実施して意向を確認したり、年度初めにアンケート配布して意向を確認しています。	アンケートや面談を通して意向を確認してきています。今後は、よりこども本人の意向を尊重できるような支援の在り方を工夫していきたいと思っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・保護者ひとりひとりに対して説明して同意を得ています。 ・年に2回行っています。	最低でも6か月に1回は説明をし、同意を得ています。今後もよりこどもやご家族の意向を尊重した計画を作成し、丁寧な説明を心がけていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・毎回必ずご家族にも参加していただき、行動観察と相談援助を実施してきています。	今後もより丁寧に相談に応じていきたいと思っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	・お父さんの会を実施しています。 ・事業所としては、毎年びごっとアートフェスタを開催し、保護者同士のつながりやきょうだい児も参加できるイベントとして実施しています。	毎年びごっとアートフェスタなど、事業所を通して多くのご家族が交流できる機会をこれからも充実させていきたいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談やご意見に対して迅速に職員間で情報共有しています。	LINE上で簡単に投稿できる「なんでもご意見箱」を設置し、苦情に限らずどんなことであれ、事業所に意見を伝えることができるような工夫をしています。今後も充実させていきたいと思っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・毎月びごっと通信を発行しています。 ・本部のHPを活用しています。活動内容やお知らせ連絡(出欠確認など)でLINEを活用しています。	公式LINEを登録し、タイムリーに情報提供をすることを心がけています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・個人情報には鍵付きの棚に保管しています。	関係機関などに情報を提供する際はその都度ご家族にお伝えして了承を得ようとしています。今後も十分に留意をしていきたいと思っています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・ひとりひとりに合った伝達の仕方を考えています。	今後も必要に応じて配慮を丁寧にしていきたいと思っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・5年ぶりになるが松風園まつりを開催しました。地域の住民の方が参加したイベントやボランティアが多く訪れました。	今後もより地域に開かれた運営を心がけていきます。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・マニュアルは策定しています。発生を想定した、職員間での訓練の実施をしています。 ・職員は毎月訓練を行い、マニュアルも設置してあるが保護者にどこまで周知できているか課題です。	マニュアルをどのように家族に周知していくかが今後も課題です。いつでも確認できるような工夫をしていきたいと思っています。	

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・年に1度、災害時の出勤の練習をしています。 ・職員は毎月訓練を行い、マニュアルも設置してありますが保護者に周知できているかが課題です。	災害時の発生に備え事業所のできる備品の整備などを行いました。さまざまな災害等に備えて今後も研鑽を積んでいきたいと思ます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・記録により職員間で周知しています。	今後も継続して、健康状態を毎回確認していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	食事を提供する場面はありません。	今後も丁寧に確認を心がけていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・非常時の研修を受けています。	リスクマネジメント研修を受け、日ごろから安全に対する意識を高めています。より今後も安全に配慮して支援に努めます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・避難訓練のプログラムを実施しています。 ・契約時に安全計画に基づく取り組み内容について触れることもあるが、周知が十分にできているかは課題です。	どのようにご家族に周知していくかが今後も課題です。いつでも確認できるような工夫をしていきたいと思ます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・その日にヒヤリハットとして記録し職員で共有しています。 ・ヒヤリハットがあった場合は、すぐに報告し、対応を考え、記録に明記しています。 ・毎月リストを作成して回覧しています。	今後も、小さなことでも気が付いて共有できるように、職員の資質の向上に向けた取り組みをしていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・法人全体で虐待防止の研修をしています。 ・法人全体で研修を実施しているほか、事業所でも研修を実施しています。	今後も年間計画を立てて実施をしていきたいと思ます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・現状では、身体拘束が必要とされる児童はいませんが、職員間で意見交換しています。	今後も、必要に応じて丁寧に対応をしていきたいと思ます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 大和しらかし会 ぴこっと (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 10日		~ 2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	193	(回答者数) 59
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		~ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高学年の児童に特化した放課後等デイサービスを提供しています。将来の自立した豊かな地域生活を送るための支援を充実させています。	子どもたちひとりひとりが「わかった」「できた」という経験を積み重ねていくことができるように、ひとりひとりに合わせた支援を心がけています。	より充実した支援を提供していくことができるように、職員の支援スキルの向上を目指すべく、研修を充実させていきます。
2	不登校状態にあるなど個別な配慮が必要なお子さんに対して柔軟に対応してきています。	グループでのサービスが基本となっていますが、個々のお子さんの状況やニーズに応じて、時間や環境など柔軟に対応して個別支援を提供してきています。	時間や人員配置的にさらに充実することで、より柔軟なニーズに応じた支援ができると思います。また、学校等との関係機関との連携を図り、課題や問題の根本的な解決をすることができるような取り組みを充実させていきたいと思っています。
3	公式LINEを活用することで、よりタイムリーにさまざまな情報を提供することができています。	公式LINEを活用し、さまざまな情報提供をするとともに、いつでも、身近に相談したり、事業所への意見などを伝えることができるような仕組みを工夫してきています。	LINEを使用していないご家庭にも、十分な情報提供や事業所とのやり取りをすることができるようにさらに工夫をしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の体調不良や研修などにより、担当者が不在になるとサービス提供が十分に提供できなくなることがあります。	BCPを活用していけるような事業所間の連携をより充実させていくこと。 職員が休んだ場合でも、十分に支援ができるような人材の育成や対応できるような業務の改善。	BCPの作成だけでなく、十分に活用していけるような事業所間の連携と、ひとりひとりの職員のスキルアップなど人材育成を充実させていきたいと思っています。
2	各種マニュアルなどの整備とご家族への周知がアンケート結果から不十分であることがわかりました。	数多くあるマニュアルについて、十分に丁寧に説明をすることや、継続していつでも確認できる状態になっていないこと。	いつでも確認していただくことができるようにマニュアルを整備して、周知することについて工夫をしていきたいと思っています。
3	お子さんが通う学校等や相談支援事業所などの関係機関との連携をより充実させていくこと。	限られた業務時間、人員配置の中で十分に対応できる時間や人材の余裕がないこと。	直接対面での連携に限らず、相談支援ファイル「かけはし」の活用や、その他柔軟な形での連携を取って、地域全体でそのお子さんの支援を充実させていけるように努めていきたいと思っています。



公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 びこっと（放課後等デイサービス）

公表日 R7年 1月 15日

利用児童数 193名

回収数 59名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	55	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔で危険なところもなく安心できる空間です。</li> <li>・一人一人のスペースが十分あるように思う。</li> <li>・活動の内容にもよると思います。</li> <li>・中までしっかりと見た事がないが、活動のスペースとしては充分だと見受けられます。</li> <li>・少人数なので、スペースが十分あると思います。個別になる部屋もあるので。</li> </ul>	高学年や中高生が主な対象であるため、体も大きくなってきています。活動によっては2つのグループに分けて対応するなど工夫をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	57	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人を見てもらえる人数だと思う。</li> <li>・子供が高校生なので職員の人数は、丁度良いと感じます。</li> <li>・一人になりたい時もさりげなく、職員がついてくれたりするので。</li> <li>・屋内活動においては適切だと思います。</li> </ul>	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50	5	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入り口の段差が気になります。</li> <li>・視覚支援されているのでわかりやすいです。</li> <li>・入口の段差は毎回気になります。お子さん方は慣れているのでしょうか。</li> <li>・こちら中までしっかりと見たことがないので、トイレ等どういう構造なのかはわかりません。</li> <li>・息子の様子を見てみると、自分の行きたいところに行っているようで、構造化できていると思います。</li> <li>・事業所入り口が段差になっている。</li> <li>・随時ラインで分かりやすく連絡などが来るので助かります。</li> <li>・家庭でも参考になります。ありがとうございます。</li> <li>・活動に合わせて、机で椅子に着席して行ったり場所を決め過ごせていると思います。</li> </ul>	事業所入り口入ってすぐの玄関には段差があり、靴を脱ぐエリアとしてはわかりやすくはなっています。帰る時間に一斉に玄関に集まると段差を踏み外す危険もあり、なるべく混雑しないように対応していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	57	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども達もスリッパや上履きがあった方がいと感じます。</li> <li>・スッキリ整理されていると思います。</li> <li>・独りでいたい時、先生と話をしたい時とか部屋が用意されているので、安心してることが出来ると思います。</li> <li>・綺麗な空間だと思います。</li> </ul>	衛生面だけでなく、災害時の対策としても、上履きを履いていただくことも検討していますが、月に1回、または2か月に1回の頻度で毎回上履きを持参していただく負担から、対応できずにいます。スリッパは転倒の恐れもあるために導入していませんが、床が冷たいなど感覚的な面で不快に感じるなど、ひとりひとりの状況に応じて提供するようにしています。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	56	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なお子さんがいますが、物足りない方もいるかも。</li> <li>・先生からのフィードバックの際、細かく様子を伝えて下さるので個別によく見ただけだと感じます。</li> <li>・本人が楽しめている。</li> <li>・幼稚園の年少から見たださっているため、息子の課題がわかっているため、専門的な支援ができています。</li> <li>・一人一人に合わせてというのは難しいので仕方ないとも思う。</li> <li>・子供たちの特性も個人差がありますが、(親から見て)似たような子供たちとの触れ合いのかなとは思っています。</li> </ul>	提供するプログラムについては、ひとりひとりのこどもたちが「わかる」「できる」体験をすることができるように特性に合わせた支援を行うことを大切にしています。個々のニーズに応じた支援については、個別支援計画に基づいて提供できるように今後も取り組んでいきたいと思っています。

適切な支援の提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	55	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく提示されていると思います。</li> <li>・息子が「想像していたのと違う」と言われたことがないので、合っていると思います。</li> <li>・中々参加出来ていないのでわかりませぬ。</li> </ul>	<p>びごつとではこれまで、ひとりひとりのお子さんが、将来の自立した豊かな生活を送ることを目指し、余暇や家事、コミュニケーションに特に力を入れて支援をしてきています。今後は、5領域に基づいた支援プログラムを充実させていきます。</p>
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	56	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人にあっている。</li> <li>・こどもの事をきちんと観察していらっしやると思うことが多いです。</li> <li>・息子が苦手なことに対して、長期的な支援が出来ていると思います。</li> <li>・仕方がない事は承知ですが、約2ヶ月に一度の支援なので、その間の変化等を伝えるのには日経ってしまったり、伝えるタイミングを逃してしまったりもありますが、ご理解していただけてとは思いますが、</li> </ul>	<p>ひとりひとりのお子さんのことを理解することを大切に支援をすることを今後も大切に取り組んでいきます。</p>
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	53	1	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切だと思います。</li> <li>・自分の感情をコントロールするのが課題ですが、コントロールする訓練をしてくださっている。</li> </ul>	<p>「本人支援」については、ひとりひとりが「わかる」「できる」体験を積むことができるように、個々に合わせた支援を心がけています。</p> <p>「家族支援」については、面談や懇談会、保護者向けプログラムの提供などに力を入れて支援をしています。</p> <p>「移行支援」については、必要に応じて学校との連携やケース会議、情報提供を行ってきています。今後もより必要な支援を充実してけるように努めていきます。</p>
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	57	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回楽しみに通っている姿にびごつとが分かりやすい環境なんだと安心していきます。</li> <li>・適切に行われていると思います。</li> <li>・活動内容の事前説明等を見る限り多分そうだと思うのですが、私が実際に受けているわけではないのでわからない。</li> <li>・毎年作られているデイサービスの計画によって、支援がなされている。</li> <li>・回数は少ないですが、継続させていたたくという事だけでも何かを得ていると思います。</li> </ul>	<p>法人としては「一貫した支援体制の構築」を目指し、びごつとはその一環として高学年、中高生に特化した放課後等デイサービスの提供をしてきています。将来の自立した豊かな生活を送ることができるよう支援計画に沿って支援を実施しています。</p>
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	52	4	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいイベントがたくさんあってすごいです。</li> <li>・外出プログラムが増えたように思います。いいことと思います。</li> <li>・中学生になって、外に出て買い物やお金を使ったりと今後の生活に必要な事が増えていて嬉しく思います。</li> <li>・毎回違う内容で本人の成長を促していると思います。</li> <li>・毎回違うプログラムで本人は楽しみにしています。</li> <li>・毎回、違う活動内容になり、工夫されていると存じます。</li> <li>・中一になり、初めてのことがばりなので。</li> <li>・屋内活動がメインの中、工夫をいただいたり、限られた時間の中で屋外の活動も取り組んでいただいていると思います。</li> </ul>	<p>地域の中で自立した豊かな生活を送っていくことができるように、屋内で一人できる余暇、屋内で複数できる余暇、屋外で一人できる余暇、屋外で複数できる余暇の視点で、プログラムを企画して実施してきています。</p>
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	14	21	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人からの拒否があるので難しい。</li> <li>・私は他の地域の子供と交流を求めているので、実施されているかわかりませぬ。</li> </ul>	<p>中には本人の意向で、事業所に通っていることを伏せていたいというお子さんもいます。地域のお店に行くなど社会資源を活用することで、地域とのつながりを作っていますが、ひとりひとりの意向に配慮して支援をしています。</p>
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	56	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインやお手紙等を通して分かりやすく説明がなされていると思います。</li> <li>・受給証の更新の時に、説明をうけていると思います。</li> </ul>	<p>支援プログラムについては特に公式LINEを活用したり、来所時に丁寧に説明をしています。</p>	

13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されている。</li> <li>・丁寧な説明がある。</li> <li>・毎回、丁寧に説明いただいております。</li> <li>・児発管の先生と、毎回支援内容と確認を双方でしているので、不満はないです。</li> </ul>	支援内容についても、面談や来所時に丁寧に説明することを心がけています。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	54	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインで積極的に連絡が来ていると思います。</li> <li>・よくわからない。</li> <li>・父親の会もあり、色々な情報を得ることができています。</li> <li>・LINEでこまめに連絡を頂くので、とても大変そうだなと思うほどに情報提供をしていただいています。</li> <li>・LINEやプリントでいただいているので、満足しています。LINEだと見落とってしまうので、紙で知らせていただければありがたいです。</li> <li>・参加出来ていませんが、お知らせはいただいております。</li> </ul>	公式LINEを導入することで、さまざまな情報をできるだけタイムリーにお伝えするように心がけています。LINEで一方的に情報提供をするだけでなく、双方のやり取りがより充実していけるように今後も努めていきたいと思えます。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	52	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていると思います。</li> <li>・毎回、子供の状況を聞いていただいています。</li> <li>・子供を見ていただいて10年目にはいり、息子の課題も変わっていないので、共通理解ができていると思っております。</li> <li>・こちらもやはり、回数が少ないので全てを伝える事は難しいですが、対面できる時には伝えさせていただいております。</li> </ul>	月に1回、2か月に1回という頻度の中で、なかなか日ごろの状況を密にやり取りすることが難しいですが、いつでもご相談していただけるように公式LINEや電話、メールなどを活用しています。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	47	7	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談のタイミングが良く分からない。</li> <li>・保護者が希望すれば、いつでも相談に乗っていただけるので、制度は整っていると思います。</li> <li>・コロナ禍の期間もあり、中々参加出来ていないです。</li> </ul>	面談については、いつでも必要に応じて実施しています。また、誕生月にはこちらからお声かけをさせていただいています。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	52	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わがままでスママセン。要望が多くて…</li> <li>・本人には、あっている。</li> <li>・概ねそうですが、共感の仕方に相いれなさを感じることもあります。けれどそれは考え方の違いだけなのでそれをもって共感的な支援をされていないのではないと思うことはありません。</li> <li>・息子の困りごとが職員と保護者で共有されているので、共感的に支援されていると思っています。</li> <li>・「共感的に支援される」ということがどのようなことかあまり理解できず、申し訳ありません。</li> </ul>	ひとりひとりのお子さんだけでなく、ご家族の方からの相談については、まずはしっかりと傾聴をすることを大切に支援をしています。ご意見ご要望に対してもできるだけお応えできるように努めています。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40	8	1	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい向けイベントがあるのは知らなかった。</li> <li>・平日が多く参加が難しい。</li> <li>・保護者同志の合流はLINEなどですしておりますが、兄弟間の合流の支援があるのはわからないので。</li> </ul>	きょうだいに特化したイベントの企画はまだ実施しておりません。今後二週に亘って検討をしていきたいと思えます。お父さんの会を定期的に開催し、保護者同士の交流の機会を提供してきています。
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	50	4	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用したことがない。</li> <li>・とても迅速にご対応して頂きました。ありがとうございます。</li> <li>・びこっとしかわからないので、児相との連絡とか緊急避難が出来るかどうかよくわかりません。実際息子が利用できるかもわからないので。</li> <li>・相談にはのっていただいていると感じていますが、内容に応じてどこにまず連絡相談をすればいいのかわからなくなる時があります。</li> </ul>	おごさんからの相談に応じることができるよう、「びこっと相談室」を実施しています。悩みや困っていることがなくても、日ごろから職員と1対1で話をする時間を提供していくことで、相談事があったときに安心して話ができる経験を積むことができるように支援してします。また、相談支援事業所の各相談員さんと連携をとって対応をしています。
20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	55	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインでの情報が役立っている。</li> <li>・LINE採用でわかりやすくなって、よかったです。</li> <li>・LINEでのタイムリーな連絡は助かります。</li> </ul>	公式LINEを導入し、さまざまな情報をタイムリーにお伝えすることができるようになりました。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	57	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的になされていると思います。</li> <li>いつも情報を提供していただいています。</li> <li>LINEでわかるようになって、よかったです。</li> <li>LINE等で拝見しております。</li> </ul>	毎月、「びごっと通信」という会報誌を発行し、さまざまな情報を発信しています。業務に関する自己評価は法人のホームページを活用して公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	56	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>されていると思います。</li> <li>問題が出てこないで、問題がないと思います。</li> </ul>	個人情報の取り扱いには十分注意を払うようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	9	0	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人が参加したことがないので分からない。</li> <li>そういうマニュアルがあるのかわかりませんでしたので、わかりません。</li> </ul>	すべてのマニュアルについては、十分に説明ができていませんでした。改めて整備してお伝えできるように努めていきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	6	2	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練をする、という話しを伺った事がないように思います。</li> <li>本人が参加したことがないので分からない。</li> <li>避難訓練はしていないと思います。</li> <li>避難訓練をしているところを見ていないので、わかりません。</li> </ul>	職員については、毎月避難訓練を実施しています。令和6年9月にはこどもたちとのプログラムの一環で「防災体験」として、避難の練習や防災に対する指導、防災職の試食などのプログラムを実施しました。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	47	3	0	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>されていると思います。</li> <li>十分に気を付けていただけていると存じます。</li> <li>計画があるのは知らなかったです。ただ、安全に確保されているのは、わかっています。</li> </ul>	リスクマネジメント研修を受講し、安全の確保に対して日々気を付けるように努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	3	0	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故が起こったことがないのでわかりません。</li> <li>そのような状態になんたことがないので分からない。</li> <li>何かあれば、お迎えの時に説明を受けるので。</li> <li>今のところそういった経験はありませんが、そのような事態が発生した場合には早急に対処してくださると思います。</li> <li>緊急を要する案件が今までないのでわかりません。</li> </ul>	事故が発生しないように、ヒヤリハットを職員間で共有し、事故を予防できるように努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	57	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュールで予告するととても楽しみにしています。</li> <li>職員との信頼関係が少しずつ構築されている。</li> <li>いつも楽しそうにしております。</li> <li>不安が強い子ですが、びごっとに対する不安は息子の口から聞いたことがないので。</li> </ul>	安心・安全に通所できるようにこれからも努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	53	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの特性上、楽しみ半分、不安半分で、楽しみが上回った時だけ参加している様子がある。</li> <li>小学校の頃お友達と会えるのが本当に嬉しそうです。</li> <li>予定表を見て毎回、楽しみにしている様子が見られます。</li> <li>それなりに楽しめている。</li> <li>とても楽しみにしています。</li> <li>いつも通所するのを楽しみにしております。</li> <li>とても楽しく通っています。</li> <li>毎回、びごっとに行くのを楽しみにしています。</li> <li>思春期・反抗期を迎え、本人の意思を汲み取れているか不明です。親の継続して欲しい気持ちが優先してしまっている所が強いかもしれません。</li> </ul>	主にグループでの支援をしているため、ひとりひとりのお子さんの「楽しい」を毎回実現できているかという難しい面もあります。いろいろな活動に参加することで、自分にとって楽しいこと、好きなこと、興味関心のあることを見つけていくことも成長の一つの大事な側面と捉えて支援しています。こどもたちに「また行きたい」と思ってもらえるように今後も努力していきたいと思っています。

	29	事業所の支援に満足していますか。	52	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し活動できる日数を増やしてほしい。</li> <li>・もう少し通う日数が増えると嬉しい。</li> <li>・欲を言うと日数を増やして欲しい。</li> <li>・子どもは通所すれば楽しいと思っていますが、親の希望は少し違います。</li> <li>・毎回、色々な配慮のもと活動させていただき有難く存じます。</li> <li>・他の事業所を利用しようと思わないです。親子共々満足しています。</li> <li>・仕方がないことだとは思いますが、もう少し頻度多く通えと子どもより慣れて楽しく通えるかなと思います。</li> <li>・子供本人の気持ちも考慮すると、わかりませんが、親としては助けていただいている気持ちです。</li> </ul>	<p>「一貫した支援体制の構築」を目指していく上で、中高生が平日の放課後に通うことが難しく、土曜日にグループ提供が集中することで、どうしても多くの皆さんへの継続した支援をしていくために、頻度が下がってしまいます。今後は、卒業しても繋がれる安心を提供することや、また、法人の事業所全体の事業展開の工夫をして地域の中核的な拠点としての役割を担うべく努めていきたいと思えます。</p>
--	----	------------------	----	---	---	---	--	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	びこっと（放課後等デイサービス）		公表日		R7年 1月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・パーテーションや布などをかぶせて環境整備をしています。 ・子どもたちの特性に配慮をし、グループを分けて活動を提供するなど工夫しています。 ・利用定員に合わせた、机の配置や動線を考えて支援を行っています。	高学年のお子さんが中心なので、だんだん体も大きくなってきています。土曜日は中高生を対象とし、午前と午後にグループを実施することで人数を分散して適切なスペースを確保しています。今後も増えるニーズに応じて事業の展開方法を検討し、改善をしていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・ときどき（個別対応のお子さんが複数いるとき）職員が少ないと感じることがある。 ・子どもの状態に合わせて、臨機応変に職員の配置を行っています。 ・体調不良などで職員の休みが出る手が足りないと感じることがあります。	BCPを整え、他事業所と連携をとって十分な支援ができるような体制作りをしていきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・出入口が玄関1つしかないので、非常時の避難が心配です。 ・子どもの特性に応じて席の配置など環境設定を考えています。 ・活動内容によって過ごす場所を分けています。情報伝達は子どもたちにわかりやすい言葉やプリントで伝えています。	今後もひとりひとりの特性に応じた情報伝達や環境設定をしていきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・掃除などをして清潔な環境を心がけています。 ・清潔で心地よく過ごせるように、整理整頓や清掃を行っています。机、イス、ロッカー、下駄箱の消毒をしています。	引き続き、清潔で、心地よい環境を作っていくように努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・その日の子どもの状況により環境設定を変えています。 ・職員同士の打ち合わせで、個別に対応した方が良い子どもや子ども自身から個別の希望があった場合にプレイルームを使用したり、環境を整えています。	・個別対応が必要なお子さんについては、場所だけでなく時間帯の調整をして対応をしています。必要に応じて、より柔軟に対応できるように工夫をしていきたいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・定期的に振り返りを行っています。 ・活動の打ち合わせでは、子どもひとりひとりの目標設定と本日のねらい、前回の振り返りを行っています。 ・全員で目標の振り返りができているかどうかと云うとできていない部分もあるかと思います。目標設定や支援計画で確認をするようにしています。	毎年、事業所の目標、行動指針を話し合って決めていきます。毎月の会議ごとに行動指針を確認して業務改善に努めています。より一人一人の職員が自発的に業務改善に参画できるように心理的安全性の高い職場作りを努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に1回必ず評価アンケートを実施しています。 ・事業所評価を本部のホームページで公開しています。	オンラインで回答できるように工夫をして毎年アンケートを実施して集計をしています。今後も、ニーズに応じてできるだけ改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・職員会議や1on1ミーティングなどで意見を把握して共有しています。 ・職員会議で業務改善について話し合います。改善点があれば、みんなで話し合って解決しています。	月に1回、管理者と職員ひとりひとりと1on1ミーティングをし、業務の改善についての振り返りをするようにしています。また、職員会議で全体で業務改善が必要なことについて意見を出し合う機会を設定しています。よりひとりひとりの職員が意見を出して、参画できるように心理的安全性の高い職場作りを目指していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・理事会や第三者委員会、評議会など外部評価が行われる場があり、業務改善につなげています。	ボランティアさんに来ていただいたり、外部の関係機関に事業所に来ていただく機会を作っています。業務改善に今後もつなげていきたいと思います。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペシャルラーニングなどを活用して内部研修を実施しています。なかなか動画研修を個人で見ると時間がとれないことが課題です。</li> <li>・研修を行っている。</li> <li>・事業所内で毎月内部研修を行っています。</li> <li>年に1回法人全体で研修を行っています。</li> </ul>	法人の人財育成のシステムの構築をしてきています。人財育成実施要綱に基づいた研修計画の作成に携わりながら、事業所だけでなく法人全体の職員の資質向上を図っていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感のあるプログラムを子どもの特性にそって作成しています。</li> <li>・個々に合わせた支援プログラムを作成しています。事前にLINEで保護者に伝えたり、活動後にフィードバックをしています。</li> </ul>	今後、5領域に基づいた支援プログラムの公表をしていきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所と連携し、サービス等利用計画に基づいて支援計画を作成しています。</li> <li>日々の記録や事業所の個別支援計画により、振り返りをし、職員で共有しています。</li> <li>・事前に保護者アンケートで伺っていた要望も考慮しつつ子どものアセスメントに基づいて計画を作成しています。</li> </ul>	日々成長するお子さんたちのニーズや課題に応じて、支援を計画しています。より適切に、支援計画を見直して柔軟な支援ができるように今後も努めていきたいと思っています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの中で子どもの変化や感じたことを話す時間は少ないが、記録を丁寧にすることで共有している。</li> <li>・支援に関わる職員が記録を基に原案を作成しています。職員同士で話し合い確認しながら作り上げています。</li> </ul>	利用者の総人数が多いことで、十分な話し合いをすることが難しい現状もあります。誕生日ごとにモニタリングと計画の作成をするように工夫をしたことで、各月に分散して計画を作成することができるようになりました。今後も、よりお子さんの最善の利益を考慮した計画作成をしていけるように工夫をしていきたいと思っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の共有をしている。</li> <li>・毎日の打ち合わせで確認し、職員間で共有した上で計画に基づく支援を考えています。</li> </ul>	限られたサービス提供時間のなかで、ひとりひとりの計画に応じた支援ができるようにプログラムの提供の仕方を話し合って工夫しています。今後も引き続き努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて評価ツールを用いたアセスメントを実施しています。個々の行動観察では、共通したフォームを使用し、アセスメントを共有しています。</li> <li>・必要に応じて心理士による発達検査などフォーマルな評価を実施しています。</li> </ul>	日タインフォーマルなアセスメントをして支援しています。より質の高いアセスメントをすることができるように、職員の資質の向上を目指していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録を参考に、ひとりひとりに合う支援計画を作成しています。</li> </ul>	ガイドラインの改定版に沿って少しずつ書式を工夫したり、ガイドラインに基づいた支援や計画の作成ができるように整備していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で共有しています。</li> <li>・職員会議でいろいろなアイデアを出して立案しています。</li> </ul>	さまざまなアイデアを出し合って、プログラムの立案をしています。今後もよりこどもたちのニーズに沿ったプログラムを工夫していきたいと思っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間過去のプログラムに照らし合わせて、固定化しないよう配慮をしている。</li> <li>・職員同士で話し合い、さまざまな職員の意見を取り入れることで固定化しないよう工夫しています。</li> </ul>	豊かな地域生活を送ることを目指し、余暇支援に力を入れてプログラムを立案しています。ぴこっこの「わかる」「できる」経験を通して、余暇が広がるように今後も工夫をしていきたいと思っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの特性や状況に配慮して、柔軟に対応するように心がけています。</li> </ul>	お子さんの特性に配慮し、個別対応もより柔軟に対応できるように今後も努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を決めて打ち合わせ、確認をして支援にあたっています。</li> </ul>	プログラムが始まる前には、その日の具体的な支援の流れを確認して対応しています。より臨機応変に連携をとって支援できるように努めていきたいと思っています。

適切な支援の提供

関係機関や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員みんなでまとめることができている。</li> <li>・就業時間内に行うことは難しく、その日の特記事項があれば、記録を書きながら簡潔に共有しています。</li> <li>・職員個々にその日の支援について振り返りを行っています。活動部屋や事務所などで共有するようにしています。</li> <li>・いつもと違うこと、気づいたことがあったときには、お互いに伝え合うようにしています。</li> </ul>	高学年の放課後支援ということもあり、夕方遅くまで支援や片付けをしているため、職員全員がそろって十分に振り返りの打ち合わせをすることが勤務時間上難しいことがあります。必要なことは記録に残し、次回利用時に必ず確認をするようにしています。業務改善も含め、今後より振り返りを丁寧にできるように改善に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録は、各自で回覧して確認をしています。また、次回の打ち合わせで共有しています。</li> </ul>	デジタル入力できるソフトを導入し、記録の管理を行っています。支援の検証や改善はその都度実施していますが、まだまだやれることはたくさんあると思っています。チームとしての資質を向上していきたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録により評価をして支援計画を立てている。</li> </ul>	最低でも6か月に1回はモニタリングを実施しています。必要に応じて適宜、見直しをするようにしています。今後も、より適切な見直しができるように心がけていきたいと思っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの小さな成功体験を見逃さず、新たなことへの挑戦を後押しできるよう、ひとりひとりに配慮した支援を心がけています。</li> </ul>	改訂版ガイドラインをもとに支援の在り方を見つめ直しているところです。今後もよりよい支援をすることができるように工夫していきたいと思っています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの中で「色や個数、使用する、使用しない」など選択できるように工夫しています。</li> <li>・活動の中に選択する場面を設定している。言葉だけでは伝わりにくくときはイラストや具体物でわかりやすく伝えている。</li> </ul>	ひとりひとりのお子さんが、自分で選ぶことができるような工夫を取り入れるようにしています。今後も、自己決定する力を育てられるような支援ができるように工夫していきたいと思っています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者や担当職員が参加しています。</li> </ul>	なかなか時間を調整して参加することが難しいことがありますが、工夫をして時間を作って参画するようにしていきたいと思っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連絡を取り、対応しています。</li> </ul>	ご家族のニーズに応じて、積極的に関係機関と連携を取って支援を行うようにしてきていますが、まだまだ対応しきれっていない実態もあります。今後も工夫をして、連携した支援ができるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連絡を取り、対応しています。</li> <li>・保護者や学校のホームページなどで情報を得るようにしています。</li> <li>・大和市のPSメールに登録し、地域の状況についての情報収集に努めています。</li> </ul>	全利用児童の通う、すべての学校との情報共有ができていないので、今後改善していきたいと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、見学に来ることがあります。</li> </ul>	必要に応じて、情報共有をしています。また、保護者を通して相互理解ができるように努めています。今後も、必要な情報共有がよりスムーズにできるように努めていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望があれば、保護者に資料の提供をしたり、本人の相談に応じています。</li> </ul>	相談支援事業所と日ごろから連携を取り情報共有、情報提供に努めています。今後も、充実した移行支援ができるようにしていきたいと思っています。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連携をとっています。</li> </ul>	現状では、センターで実施している保育所等訪問支援事業と連携をして助言をいただいています。今後も、より連携を図っていきます。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松風園祭りで、ボランティアなど地域の子どもと交流する機会があります。</li> </ul>	それぞれのお子さんの状況によっては、事業所に通っていることを知られたくないこともあり、ここに配慮をしながら地域交流ができるような機会を作ってきています。	
33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が参加しています。</li> </ul>	自立支援協議会への参加や自立支援協議会専門部会である児童部会の部会長を担っています。地域の課題を解決するための活動を今後もより充実させていきたいと思っています。	



	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、面談を実施したり、個々に話をしていきます。</li> <li>・子どもの受け入れやお迎え時にご家族と子どもの状況を共有しています。誕生月に面談も実施しています。</li> <li>・お迎え時に活動の様子を伝えていきます。丁寧な報告を心がけていきます。</li> </ul>	公式LINEを活用し、いつでも相談しやすい環境を作っています。電話だけでなく、メール、LINEを取り入れたことで、相談を受ける機会も増えてきています。より身近に相談できる地域の居場所としての在り方を今後も検討していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援事業では、未就学児のペアレント・トレーニングを実施しています。</li> <li>・父親の会や保護者対象の懇談会、勉強会・見学会を実施し情報共有しています。</li> </ul>	性の問題、高校卒業後の進路、社会的なルールについてなど、さまざまなテーマを設定した懇談会を実施したり、定期的にお父さんの会を実施してきています。より多くのご家族が参加することができるような工夫をしていきたいと思っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者ひとりひとりに対して説明しています。</li> </ul>	重要事項説明書などの書面を通して説明を行っています。さまざまな制度の変更についても丁寧に説明ができるように今後も努めていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者の要望を尊重するように心がけています。</li> <li>・面談を実施して意向を確認したり、年度初めにアンケート配布して意向を確認しています。</li> </ul>	アンケートや面談を通して意向を確認してきています。今後は、よりこども本人の意向を尊重できるような支援の在り方を工夫していきたいと思っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者ひとりひとりに対して説明して同意を得ています。</li> <li>・年に2回行っています。</li> </ul>	最低でも6か月に1回は説明をし、同意を得ています。今後もよりこどもやご家族の意向を尊重した計画を作成し、丁寧な説明を心がけていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて個人面談を行っています。</li> <li>・面談や電話での相談を行っています。</li> </ul>	できるだけ相談しやすいような工夫として、LINEを導入してきています。今後もより相談しやすいようにLINEだけでなく、こちらからも声をかけていくなど工夫をしていきたいと思っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を開いて交流しています。</li> <li>・父親の会、保護者懇談会、見学会を実施しています。びごとアートフェスタを開催し家族同士、きょうだい同士で交流する機会を設けています。</li> </ul>	毎年びごとアートフェスタとして、こどもたちの作品を展示したり、得意なことを発表する場としてのお祭りを提供しています。事業所を通して多くのご家族が交流できる機会をこれからも充実させていきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情に対して迅速に職員間で情報共有しています。</li> </ul>	LINE上で簡単に投稿できる「なんでもご意見箱」を設置し、苦情に限らずどんなことであれ、事業所に意見を伝えることができるような工夫をしています。今後も充実させていきたいと思っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月びごと通信を発行しています。</li> <li>・本部のHPを活用しています。活動内容やお知らせ連絡（出欠確認など）でLINEを活用しています。</li> </ul>	公式LINEを登録し、タイムリーに情報提供をすることを心がけています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報は鍵付きの棚に保管しています。</li> </ul>	関係機関などに情報を提供する際はその都度ご家族にお伝えして了承を得るようにしています。今後も十分に留意をしていきたいと思っています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりひとりに合った伝達の仕方を考えています。</li> </ul>	今後も必要に応じて配慮を丁寧にしていきたいと思っています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年ぶりになるが松風園まつりを開催しました。地域の住民の方が参加したイベントやボランティアが多く訪れました。</li> </ul>	ボランティアセンターにも登録をし、ボランティアさんの受け入れも実施しています。現在は習字のボランティアの方に来ていただいています。今後もより地域に開かれた運営を心がけていきます。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルは策定しています。発生を想定した、職員間での訓練の実施をしています。</li> <li>・職員は毎月訓練を行い、マニュアルも設置してあるが保護者にどこまで周知できているか課題です。</li> </ul>	マニュアルをどのように家族に周知していくかが今後も課題です。いつでも確認できるような工夫をしていきたいと思っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1度、災害時の出勤の練習をしています。</li> <li>・職員は毎月訓練を行い、マニュアルも設置してありますが保護者に周知できているかが課題です。</li> </ul>	災害時の発生に備え事業所のできる備品の整備などを行いました。さまざまな災害等に備えて今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録により職員間で周知しています。</li> <li>日々の状況は把握しているが、非常時までの準備は整っていません。</li> </ul>	健康状態の把握は、事前に聞き取りをしています。また、来所時に確認をするように心がけています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理のプログラムでは来所時、保護者に聞きとっています。</li> <li>毎年アンケートで確認をしています。</li> <li>非常時の研修を受けています。</li> </ul>	今後も丁寧に確認を心がけていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		リスクマネジメント研修を受け、日ごろから安全に対する意識を高めています。より今後も安全に配慮して支援に努めます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練のプログラムを実施し、内容を保護者に伝えていきます。</li> <li>契約時に安全計画に基づく取り組み内容について触れることもあるが、周知が十分にできているかは課題です。</li> </ul>	どのようにご家族に周知していくかが今後も課題です。いつでも確認できるような工夫をしていきたいと思っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日にヒヤリハットとして記録し職員で共有しています。</li> <li>ヒヤリハットがあった場合は、すぐに報告し、対応を考え、記録に明記しています。</li> <li>毎月リストを作成して回覧しています。</li> </ul>	今後も、小さなことでも気が付いて共有できるように、職員の資質の向上に向けた取り組みをしていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人全体で虐待防止の研修をしています。</li> <li>法人全体で研修を実施しているほか、事業所でも研修を実施しています。</li> </ul>	今後も年間計画を立てて実施をしていきたいと思っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状では、身体拘束が必要とされる児童はいませんが、職員間で意見交換しています。</li> </ul>	今後も、必要に応じて丁寧に対応をしていきたいと思っています。